



骨髄移植シンポジウム



平成13年1月16日(火)午後2時~4時に
ドーンセンター特別会議室において、大阪府主
催・(財)骨髄移植推進財団、関西骨髄バンク推進

協会協力による「骨髄移植シンポジウム」
**骨髄バンクに登録を~沖縄の取り組み
**と題し、骨髄バンク登録を献血にあわ
せて受け付け、成果を上げた沖縄県の事例
を中心に提供者登録拡大に向けた取り組み
について話し合いがもたれた。

シンポジスト

藤岡八重子

(財)骨髄移植推進財団 普及広報委員長
谷 慶彦

(財)骨髄移植推進財団

近畿地区調整委員会副運営委員長

上江洲富夫

沖縄県骨髄バンクを支援する会

田代貴久

フェニックスクラブ(血液疾患患者の会)

正岡 徹

関西骨髄バンク推進協会 会長

目次

- 骨髄バンクシンポジウム
骨髄バンクに登録を
~沖縄の取り組み
- 平成12年度キャンペ
ンドナー登録会
- 骨髄バンクダイジェスト
- 血液疾患患者 自立支援
団体 設立準備委員会
- 各地の活動報告と今後の
予定
- ご寄付



平成12年度キャンペーンドナー登録会

年	月	日	曜	形態	府県	市	会場	キャパ	登録数
12	4	2	日	集団登録	大阪府	大阪市	インテックス大阪		16
12	4	9	日	集団登録	京都府	京都市	京都市パルスプラザ		21
12	4	30	日	集団登録	兵庫県	神戸市	神戸市国際展示場		24
12	7	30	日	集団登録	大阪府	茨木市	「ローズ・WAM」ビル		19
12	9	24	日	集団登録	大阪府	池田市	池田市民文化会館		32
12	10	1	日	集団登録	大阪府	富田林市	富田林市中央公民館	100	29
12	10	3	火	職域・献血	兵庫県	姫路市	関西電力労働組合姫路第一支部	10	10
12	10	8	日	献血並行	兵庫県	姫路市	ジャスコ姫路リバーシティ	30	17
12	10	15	日	集団登録	京都府	舞鶴市	舞鶴市役所		55
12	10	15	日	集団登録	和歌山県	和歌山市	マリナシティ	10	9
12	10	18-25	水	職域登録	兵庫県	姫路市	三菱電機姫路製作所		16
12	10	22	日	集団登録	兵庫県	神戸市	(しあわせ村)		41
12	10	22	日	集団登録	大阪府	大阪市	御堂筋光明ホール		24
12	11	5	日	集団登録	大阪府	守口市	さつきホールもりぐち		18
12	11	5	日	集団登録	和歌山県	上富田町	上富田町保健センター		5
12	11	12	日	集団登録	滋賀県	長浜市	滋賀県長浜健康福祉センター		8
12	11	19	日	集団登録	和歌山県	橋本市	橋本市健康まつり		13
12	11	19	日	集団登録	兵庫県	三木市	サンライフ三木		27
12	11	26	日	集団登録	大阪府	大阪市	長居スタジアム		23
12	12	3	日	集団登録	滋賀県	八日市市	八日市健康福祉センター		18
12	12	3	日	集団登録	京都府	京都市	ジャスコ洛南店		18
12	12	10	日	集団登録	滋賀県	栗東町	ウイングプラザ		22
12	12	13	水	職域登録	大阪府	大阪市	済生会野江病院		20
12	12	23	土	集団登録	兵庫県	姫路市	姫路市パルナソスホール	10	12
13	1	14	日	集団登録	大阪府	泉佐野市	ジャスコ日根野店	100	24
13	2	4	日	集団登録	和歌山県	新宮	紀伊勝浦町観光会館		10
13	2	25	日	集団登録	和歌山県	湯浅町	湯浅保健所		
13	3	4	日	集団登録	奈良県	大和郡山	奈良県骨髄データセンター	50	
13	3	18	日	集団登録	大阪府	堺市	境市役所 高層館3階301会議室	50	

平成12年度キャンペーンドナー登録会に参加して

平成12年度骨髄バンクキャンペーン登録会の準備、調整等を担当していただいた。元関西骨髄バンク推進協会事務局員、財団法人骨髄移植推進財団地区普及広報委員の福田さんに、そのときの感想や体験談について、池田市の場合を中心にお聞きしました。

池田登録会の場合、そして、今後のバンク運動について

舞台『友情』関西公演に合わせ、池田市で骨髄バンクキャンペーン登録会を開催して欲しいとの要望があったのは公演予定日の約2ヶ月前でした。当時関西協会事務局員も兼ねていた私はとりあえず受けたものの時間的に不可能だと思っていました。しかし、何らかの答えを出さなくてはならないので、早速、関西協会で作成したマニュアルを元に動き出すことにしました。行政・日赤関係者・ボランティアへの連絡調整（打ち合わせ、役割分担、物品の手配、当日のタイムスケジュール等々）、採血会場の手配、採血医師・看護婦の手配、そして何より重要な広報...と順を追って漏れの無いように、また、幾つか重なる他の登録会や事務局ならではの作業等も同時に進めていきます。

その中の一つ、骨髄バンク以外にも多くの業務を抱えている日赤、行政への急な依頼は、この事業の一番の問題ではないかと感じます。登録者を増やしたい、患者さんの為に何とかしたいという思いは、業務として対応する方も、私達ボランティアも勿論一緒です。しかし、業務だからこそ思いとは裏腹に断らなくてはいけない事情があるのも多少の経験で分かってきました。それでも、そこを何とか...と幾度も切り出すのは、何度経験しても気が重く、ボランティアの位置付けでは限界だと思うからです。

池田の場合も急な申し出をしましたので、当初快い答えは返ってきませんでした。しかし、問題を一つ一つ洗い出し、再度、再再度...と検討していただき、最終的には深いご理解とご協力のもと実現の確約を得ました。開催の20日程前でした。嬉しい反面、多くの登録希望者を募るための労力や残り少ない時間を考えると不安で、更には“言い出しっぺ”という状況上、荷の重さに後悔すら感じました。（本来、“言い出しっぺ”は情報提供者で、その後は、責任も持って事業を成り立たすべき機関があって然るべきだと思いますが、現在はそこがすっぱり抜けていて、財団はこのしんどい部分をボランティアに依存し過ぎていると思います。）

広報に関しては対応が早ければ早いほど効果的であるにも関わらず、最終的な返答を待ってからでないと動けないジレンマがあります。OKの答えを受け早急にマスコミ、行政広報誌、タウン誌掲載への依頼を出しても締切日の都合で無念な思いをする事もあります。そこで事前に記事スペースを頂いて最終締切日に滑り込みで原稿を入れるという（編集担当者、印刷所等の深いご理解を頂けた場合ですが）わがままをしております。このような綱渡り状態のような話を積極的に受け入れて下さり前向きに取り組んで頂いた例がこの池田ではなかったかと思えます。

他にも、多くの方が協力して下さいました。ケーブルテレビは特集番組を組み2週間の放映をして下さいました。またその番組にドナーを待つ患者さんが出演して下さい大きな反響を得ました。登録会の案内を掲載した手作りのポスター貼付に関しては、大小の企業や商店が1枚でも良ければと名乗りを上げてくださり、郵便局・医師会・市議会・奉仕団体・教職員組合・労働組合等お邪魔させていただき協力を得ることが出来ました。会場沿線である阪急各駅にも...と考えましたが手が足りずにもどかしく感じていたところ、それを耳にしたあるドクターがその地味な作業を快く引き受けて下さいました。池田市は各公共施設に独自のルートで100枚貼付して下さいました。

数少ないボランティアにはイベントや登録会が重なると毎週のように休日返上でお願いする事も多く、有り難くもあり、申し訳なくもありといった現状ですが、池田の嬉しい悲鳴であるポスター作りの際も、登録会直前になってもドナー希望の予約があまり入っていなかった為、登録会場がある駅を利用する会社員向けに平日夕方ピラ配りを検討した際も最終的には一人ででも対応しようと考えていましたが、協力して下さい方がいて頭がさがりました。また、当日は公演と登録会で人手

が不足する為、池田市社会福祉協議会にも活動協力を要請した結果、多くの方がお手伝いに参加して下さいました。

登録者32人。短い時間ではありましたがそれぞれがそれぞれの分野で精一杯の協力と努力をした結果です。

今、骨髄バンクのドナー登録者は増えるどころか年齢超過が理由での取り消し数が多い危機的状況です。しかしながら、登録者30万人は移植を希望する患者さんが必要としている数字でもあります。「たった32人？」(登録会の実績はもっと少ない時も逆に予想以上に多いときもあり蓋を開けてみなければ分からないのが現状です)とおっしゃる方もいますが、この機会を設定しなければ得られなかったかも知れない32人の中に患者さんは生きる希望を持ちます。そういう患者さんがたった一人になっても骨髄バンクは必要です。もう少し人手があればポスターをより多く貼れたかも知れない、もっと多くのピラが配れたかも知れませんが、その事で登録を考えて下さる方が一人増えたかも知れませんが、そう考えると私には手を止める事が出来ません。「もしも僕が患者になった時、僕を助けようとしてくれる人は全国に13万人(平成13年1月末現在、134564人のドナー登録者と1627人の移植希望患者が登録されています)もいるのに、僕が何もする意志の無い事が何と恥じるべき事だったか、また健康状態である僕が誰かの役に立てる事を今回の機会を通じて痛感しました…」と登録後のアンケートに記入して下さいました。一人一人が支え合い他人を思いやる優しい社会であって欲しい、その為には更に幅広い広報活動が必要だと改めて実感しました。

30万人をより早く実現させるために、問題をクリアしながらこれまでのように登録会を開催するのも一つの手段ですが、その結果、課題、問題点を次につなげる事が重要です。各担当者レベルでの思いを反映させ、これまでの活動以外の新しい運動の必要性を検討することも必要です。何より今のようなボランティアに依存した事業ではどんな事を掲げてもあまりにも無責任になると考えられます。

私自身の事を例えると、財団の肩書きを利用して連絡調整をし、関西協会の事務局員として時給を頂いて業務をしておりました。もしも、無給でこの事業を個人でお手伝いしていたら時間的にも経済的にもそして責任の重大さを前にしても自信を持って「任せて！」とは言えなかったと思います。仮に何回かは対応出来ても継続する事に関しては返答出来ません。現に、事情があって事務局を退き、財団の一ボランティアとして活動しておりますが、病気の主人や子供がいる家庭を持つ中、再就職も考えていて、諸作業のお手伝いにもなかなか参加協力出来ない状況です。しかし、新しい事務局員にこれまでの業務を引継したので安心もしています。それが仕事とボランティアとの大きな違いであると思います。

財団は東京に事務局を置き、全国、海外にも目を向け、多忙な業務をこなされていることは重々承知です。移植数に関しては大きな成果も出されています。しかし、これから30万人の目標を3年(既に1年経過しました)で達成させると自ら掲げたのなら、地方の普及広報にも責任を持って対応する時期ではないでしょうか。財団職員を関西にも設置して頂きたいという長年の訴えは、責任の所在を考えた公的な事実に基づくものからでもあります。関西協会というボランティア団体はあくまでも行政や財団が出来ない部分をお手伝いする立場でしか関わられません。そして、そこで踏ん張っているボランティアは息切れ寸前です。池田をはじめ、各地の登録会を微力ながらお手伝いした経験を持つ者として、患者家族として、一ボランティアとして財団には責任のある体制を望みたいと思います。

日本骨髄バンク骨髄提供希望者(ドナー)・骨髄移植希望者登録状況

(2001年1月末現在)

	全国	関西	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
ドナー登録数	134564	21598	1496	3916	8946	4970	1387	833
移植希望患者登録数	1627	259	16	29	125	54	21	14

血液疾患患者 自立支援団体 設立準備委員会

このたび、白血病などの血液疾患と戦う患者さんを経済的に、また、自立の手助けをする事を目的とした団体を設立しようという会が発足しました。関西骨髄バンク推進協会もこの会の目的に賛同し、協力することになりました。下記にこの会の設立趣意書を添付いたします。皆様の暖かいご支援ご協力をお願いいたします。

血液疾患患者 自立支援団体 設立準備委員会 設立趣意書

日本骨髄バンクによるドナー登録の受付が開始されてまもなく10年が経とうとしています。ドナー登録者は13万人を数え、移植例も昨年3000例を突破し、以前は「死の病」とされていた白血病をはじめとする多くの血液疾患患者が、医学の進歩とみなさんの善意に支えられて、生きるチャンスを与えられました。

その中には無事快癒し社会復帰した人もいらっしゃいますが、発病や長い闘病生活の中で職を失い、平癒した後、有能多才であるにもかかわらずリスクを抱えた中で次の職を得られず経済的に困窮している人や、自宅療養中でも無理のない範囲で仕事をし、幾分でも安定した生活と社会参加を求める人が多く見られるようになりました。

日頃骨髄バンクの普及啓発活動に取り組み、患者支援の運動をしている私たちですが、死の淵より生還したにもかかわらず、さらなる戦いを強いられる患者さんを見るにつけ、「この方たちのお力に何とかなれないものだろうか」と常々思ってまいりました。昨今のIT社会において在宅勤務が可能になっている状況を鑑みると、コンピュータに限ったことではありませんが、このような就労状況をはじめとした在宅ワークのネットワークを構築することで、病気のリスクを抱えた人たちが共同で取り組み、社会参加ができるのではないかと考えます。さらにそれを世の中に向けてアピールしていくことで、病気と戦う患者さんには励みになるものと考えますし、移植で助かった命がこのように輝くということを見なさんに知ってもらい、骨髄バンクへの理解を深めてもらう一助になるものと考えます。

このような思いから、この度上記の通り「血液疾患患者自立支援団体 設立準備委員会」を発足させました。まずは主旨に賛同し協力してくださる会員を募りたいと考えております。どうかみなさまの深いご理解と暖かいご支援を心よりお願い申し上げます。

2001年 月 日

血液疾患患者自立支援団体 設立準備委員会
発起人

事務局 〒537-8511
大阪市東成区中道 1-3-3
大阪府立成人病センター第3部長室
関西骨髄バンク推進協会内
TEL&FAX (06)6977-2123

骨髄バンクニュース ダイジェスト

1. ドナー登録数は、依然として低迷傾向。抜本的な取り組みが必要に！

各地で「献血会場におけるドナー登録受付」が始まりました

1月は、献血会場におけるドナー登録受付が27回実施され、297人が登録されました。1月の、31回のドナー登録会のうちで、回数で87%、登録者数で77%を占める実績を示しています。献血会での骨髄ドナー登録受付は、各地で開催されるドナー登録会の主流となりつつあることを示すものと理解できます。1月の都道府県別開催数は、沖縄県9回、秋田県3回、東京都3回、福岡県3回、栃木県2回、神奈川県2回、愛知県2回、北海道1回、石川県1回、広島県1回という実績でした。これは、日本赤十字社ならびに各地血液センターのご協力の賜物です。今後ますます、各地での献血会におけるドナー登録受付がすすむことが期待されます。

「都道府県庁舎、市庁舎でのドナー登録会」続々と開催

1月には31回のドナー登録会が開催され、384人の登録実績でした、1月の全ドナー登録者1184人に対する割合では32%を占めています。昨年1月は登録会5回、登録者数61人でしたので、昨年比6倍という大幅増加です。とりわけ、各都道府県・市役所での庁舎登録会は、7都県（東京都、秋田県、栃木県、茨城県、神奈川県、愛知県、福岡県）と、4市・町（福山市、沖縄市、糸満市、北谷町）で計18回（開催日数ごとに計算）開催され、合計239人が登録されました。ドナー登録者増加が低迷傾向を続けているなか、各都道府県・市担当者のご理解ご協力により、このような成果に結びついたものと厚くお礼申しあげます。

2月、3月にかけても、庁舎ドナー登録会開催の問合せが、各県・市から寄せられています。東京23特別区でも献血並行登録会が始まります。すでに港区、大田区、渋谷区での開催が決定しており、世田谷区、葛飾区においても実施時期が検討されています。各地の、行政担当者の方々のご協力により、今後ますます庁舎におけるドナー登録会が開催できますよう心から期待しております。

2. 2000年の年間移植件数は699例

日本骨髄バンクを介した非血縁者間移植は、昨年1年間で、699例（対前年比25.9%増）が実施され、累計で3083件に達しました。1993年1月に第1例目の移植が実施されてから、98年453件（前年比13.8%増）、99年555件（同22.5%増）と移植例数は順調に増加してきました。昨年は1カ月の移植例数が70件を超えた月が3カ月もありました。

ここに至るまでの、3083人のドナーの方々から心からお礼を申し上げますとともに、移植病院関係者、調整医師、コーディネーター、各都道府県、日赤血液センター、支援団体など関係者の皆さまのご協力に心から感謝申し上げます。今後とも、一人でも多くの患者さんの生きるチャンスのため、コーディネート期間の短縮化、ドナー登録推進活動などに積極的に取り組んでまいります。現状の伸び率が維持されれば、本年は約850例になります。皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

3. コーディネート迅速化の取り組みのお知らせ

当財団では、コーディネートの迅速化のため、コンピュータシステムの構築とコーディネート業務改革に取り組んでいます。いよいよ、来年1月中旬頃より、一部について実施されることになりました。登録責任医師の先生方には、詳細な内容を年内にあらためてご連絡いたしますが、ここでおもな内容についてお知らせします。

毎週1回だったHLA適合検索が、毎日実施されます。

各地区事務局で行われていた、ドナー候補者への問診票、提供意思確認書の送付、内容の確認作業が、初期コーディネート担当（関東事務局内）へ一元化されることとなります。また医師からの開始連絡を待たずに、検索後すみやかに、ドナー候補者へ問診票の送付を行います。

同時並行ドナーコーディネート数が、3人から5人に拡大されます。

コーディネート進捗の状況のデータ入力により、各種報告が自動出力されます。これにより正確で迅速な情報の伝達が可能になります。また、ドナーコーディネートの進行状況を、毎週、登録責任医師に送信します。ドナー選択の適切な判断の一助となると考えられます。

各地の活動報告と今後の予定

12月

- 1(滋賀)JR 近江八幡駅にてチラシ配布
- 3**骨髄バンク移植3000例記念キャンペーン**
 (さかい)堺東駅前にて街頭啓発
 (関西)ジャスコ洛南店にて登録会に参加、
 (大阪)万博公園にてチラシ配布
 (和歌山)JR 和歌山駅にて啓発活動
 (滋賀)「休日の集団登録」(八日市保健所)
 (滋賀)JR 草津駅・西友八日市店前にてチラシ配布

- 6(滋賀)JR 野洲駅にてチラシ配布
- 7(滋賀)JR 草津駅にてチラシ配布
- 9(関西)骨髄バンク全国大会 IN 京都に参加
- 9(和歌山)「全国大会 2000in 京都」に参加
- 10(滋賀)「休日の集団登録」(栗東町ウイングプラザ)
- 10(滋賀)JR 栗東駅・栗東サティ前にてチラシ配布
- 10(関西)患者相談会開催
- 10(さかい)映画「友情」上映会
- 10(大阪)寝屋川市淀川河川公園リレーマラソン
- 16・17(大阪・関西)再彩市場にてバザー・啓発活動

2000年1月

- 7(和歌山)「成人式」にてティッシュ・リーフレット配布
- 8(奈良)成人式リーフレット配布
- 14(大阪・関西)ジャスコ日根野店にてバザー・登録会に参加
- 16(関西)骨髄移植シンポジウムに協力
- 20・21(福知山)チャリティーバザー
- 25(和歌山)湯浅市にて登録会に参加
- 31(関西)「大阪日日新聞」に記事掲載

2月

- 4(和歌山)那智勝浦町にて「休日ドナー登録会」に参加
- 5(和歌山)ロータリークラブ「アゼリア」にて卓話
- 10・11(さかい)「堺刃物まつり」にてチラシ配布
- 12(さかい)泉北ニュータウンにてチラシ配布
- 18(さかい)堺東駅前にてチラシ配布
- 20(滋賀)「骨髄バンク・さい帯血バンク関係者会議」
- 25(さかい)堺東駅前にてチラシ配布
- 25(和歌山)湯浅保健所にて「休日ドナー登録会」に参加

3月

- 4(さかい)堺東駅前にてチラシ配布
- 4(奈良)奈良県DCにて登録会に参加
- 11(さかい)堺東駅前にてチラシ配布
- 16・17・18(関西)DIYショーにて普及啓発
- 18(さかい・大阪・関西)堺市役所にて登録会に参加
- 22(滋賀)愛知川・能登川ライオンズクラブ合同大会にて講演
- 27・28(関西)大阪府ボランティア講座
- 31(大阪・関西)再彩市場

4月

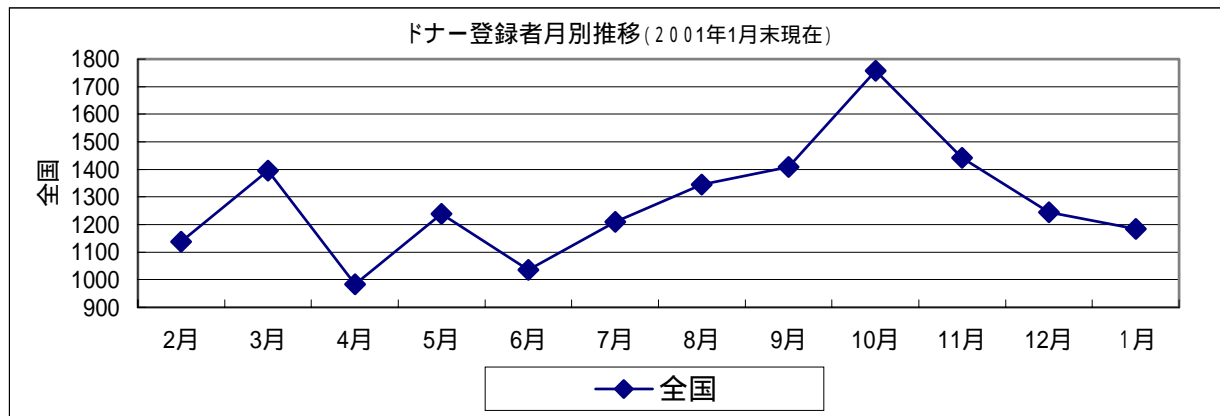
- 1(大阪・関西)再彩市場
- 21・22(関西?)再彩市場
- 中旬(和歌山)JR和歌山駅前にて街頭啓発

骨髄バンクキャンペーンドナー登録会開催予定

5月26日(土)

姫路キャッスルホール

13:00~16:00



心よりのご寄付に感謝申し上げます。

2000年11月～2001年2月

(敬称略、順不同)

個人

山下節子	8,000円	竹中悦子	10,000円	加藤早苗	10,000円
古市真理子	6,000円	西井幸代	3,000円	林吉男	1,010円
西山孝美	30,000円	砂原りえ子	10,000円	橋孝明	2,000円
兼田利治	170円	森本美和子	7,000円	和田昭人	4,557円
安里勝昭	150,000円	山本あいこ	10,000円		
匿名	6,000円	匿名	10円	匿名	7200円(切手)
匿名	160円(スットkansaiカード)				

団体

茨木ローズライオンズクラブ	1,000,000円	日本小児血液学会	300,000円
骨髓献血の和を広げる	20,000円	翻山青年連合会	18,919円
大阪梅田中央ライオンズクラ	100,000円	全青連結集実行委員会	100,000円
大阪チャリティーコンサート実行委員会	64,611円		

助成寄付金

(有)ダイワ通販 11月	91,388円	(有)ダイワ通販 12月	45,520円
(有)ダイワ通販 1月	66,546円	(有)ダイワ通販 2月	61,694円

お詫び

前号(第27号)の寄付金一覧において記載漏れがありましたので、ここに掲載すると共に、心よりお詫び申し上げます。

豊田安喜子	10,000円	寺方産婦人科	5,000円
-------	---------	--------	--------

皆様の心よりのご寄付をお待ちしております。

お振込先 大和銀行 本店公務部 普通口座 3652502 関西骨髓バンク推進協会 事務局
郵便口座 00970-3-64270 関西骨髓バンク推進協会

各会ではボランティアを募集しています

- * 骨髓バンクを応援するさかい TEL&FAX:0722-73-0992
- * 骨髓献血の和を広げる会 TEL&FAX:0773-27-7693
- * 大阪骨髓献血の和を広げる会 TEL:06-6349-2002 FAX:06-6349-2297
- * 和歌山骨髓献血の和を広げる会 TEL&FAX:0734-51-9528
- * 滋賀骨髓献血の和を広げる会 TEL&FAX:0748-83-0259
- * 奈良造血幹細胞移植を支援する会 TEL&FAX:0743-57-8050

関西骨髓バンク推進協会

〒537-8511 大阪市東成区中道 1-3-3 大阪府立成人病センター第3部長室

TEL&FAX 06-6977-2123 (骨髓バンク関西ダイヤル)